

当たる道産品
裏表紙をチェック!

2018年
10月号
平成30年9月発行
通巻227号

【特集】科学技術で描く、未来の北海道

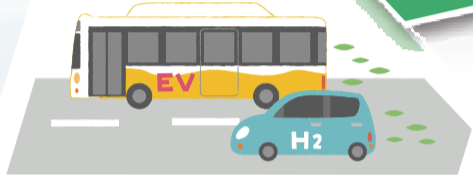
未来の北海道のためにできること。 科学技術を仕事や暮らしに生かす 新たな取り組みを進めます。

基本目標 1
持続的な
経済成長の
実現



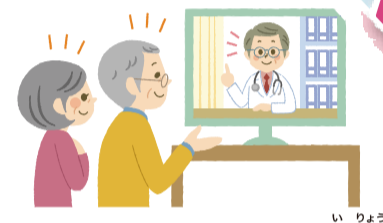
無人運転トラクターが活躍
トラクターの自動走行や衛星データなどの利用で、農作業を完全自動化

基本目標 3
環境と調和した
持続可能な
社会の実現



**水素を使った
燃料電池自動車などが普及**
電気や水素エネルギーを活用した自動車やバスで、CO₂を削減し、環境にやさしい社会へ

基本目標 2
安全・安心な
生活基盤の
創造



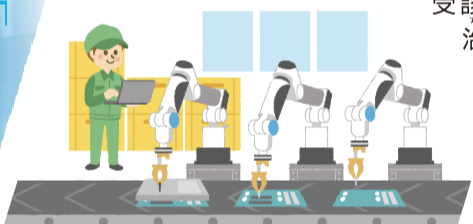
道内すみずみに安心の医療
AIやIoTなどを活用して、遠隔地でも受診ができたり、患者自身が治療法を選べたりする時代へ



AIが災害から暮らしを守る
過去のデータからAIが災害を予測し、災害現場ではロボットが生存者を識別して救助



エネルギー自給率がアップ
地域の特性に合わせ、太陽光、風力、地熱、バイオマスなどの新エネルギーが拡大



人とロボットが働く現場
人手が足りない製造業などの現場にロボットを導入することで、生産性が向上



北海道の豊かな未来を実現するために

豊かな自然環境や良質な食、観光・エネルギー資源などに恵まれている北海道。その一方で、全国を上回るスピードで進む人口減少・高齢化の波は、私たちの生活にさまざまな影響を与えています。北海道の優れた資源を生かしながら多様化する課題を解決し、未来の北海道をつくっていくために、どんなことができるでしょうか。

将来にわたって豊かな暮らしや確かな成長を実現する鍵の一つは、AI※1、IoT※2、ロボットなどの科学技術イノベーション※3です。

こうした中、道では、ことし3月に新しい「北海道科学技術振興計画」を策定しました。この計画では、科学技術の振興を通じて目指す北海道の姿として、3つの基本目標を掲げています。

※1 AI/人工知能。コンピューターを使って、人間の知能の働きを人工的に実現したもの。

※2 IoT/「モノのインターネット」と呼ばれ、身の周りのものがインターネットにつながる仕組みのこと。

※3 イノベーション/科学的な発見や発明などによる知的・文化的・社会的価値の創造に結び付ける革新のこと。

3つの基本目標に向かって科学技術を推進

基本目標 1

持続的な経済成長の実現

豊かな資源や「ものづくり」の技術など、北海道の強みや可能性を生かし、持続して成長する経済を実現

基本目標 2

安全・安心な生活基盤の創造

健康で心豊かな生活に必要な基盤を整備し、誰もがこの先も住み続けたい社会を実現

基本目標 3

環境と調和した持続可能な社会の実現

循環的な資源利用や温室効果ガスの排出削減などを進め、環境と調和した社会を実現

これらの実現に向け、道では、産業界、大学、研究機関や金融機関などの関係者と協力し、科学技術を生かしたさまざまな施策を進めています。詳しい取り組みについては中面をご覧ください。

ほっかい家族

作：ヤマモトマナブ（第1回北のまんが大賞 大賞受賞）



津波の危険があるときは？
詳しくは中面へ